

## 県立相可高等学校出前授業

H25.11.13（水）

昨年に引き続き、三重県立相可高等学校において、環境創造科1年生（40名）を対象に、同校では4回目となる出前授業を実施しました。

「物の見方を広げる」ということを1つのテーマとして、柔軟な思考方法を体験できるよう事例体験をもとに、「逆さ地図」、「錯覚図形」、「思い込み」等の話を、生徒に参加してもらうクイズ形式にして、講義を行ないました。

第2部として、教材に土地家屋調査士PR動画「土地家屋調査士 THE MOVIE」を取り入れ、土地家屋調査士がどのように関わっているかの紹介と、業務の一部として「公図の読み方」について、視覚的にも土地の変遷が分かるように、身近な相可高校の敷地を例にして和紙公図、公図、航空写真の重ね図を取り入れ講義を行ないました。

冬の足音が駆け足で聞こえてきたような寒い日でしたが、講師の牛田隆義副部長の情熱と、積極的に講義に参加している若い生徒の熱気により、教室はとても暖かかったように感じました。

広報厚生部

